



# 岐阜県ボクシング連盟 Gifu Boxing Federation

BOXING NEWS  
令和4年9月5日

## 令和4年度全日本選手権東海予選会が開催されました

9月3日（土）、4日（日）の2日間、令和4年度全日本選手権大会東海予選会 ボクシング競技が静岡県沼津市飛龍高等学校ボクシング場で開催されました。岐阜県からはこの大会に4名の選手が出場し、ライトウェルター級の田下翔太選手（大東文化大4年・岐阜工高卒）、齋藤英豪選手（駒澤大4年・中京高卒）の2名が見事優勝し、日連推薦ですでに出場を決めているミニマム級の小川翼選手（東京農大4年・岐阜工高卒）、女子バンタム級の木村萌那選手（日本大3年・岐阜工高卒）、同じく女子バンタム級の小川葵選手（株式会社小川鉄工所・岐阜工高卒）とあわせて5名が本戦に出場することになりました。



全日本選手権大会に出場する男子の3選手

ー以下は選手のコメントですー

昨年度の全日本選手権では惜しくも決勝で敗れ準優勝となってしまう、日本一まであと一步及ばずに悔しい思いをしました。今年こそは日本一をつかみとりたい。大学4年生の最後のチャンスなので「もう次は優勝しかない」という気持ちで力を出し切ってきます。【小川翼選手】

2週間前に行われた国体東海予選ではやや積極性に欠け満足いく試合をすることができなかったの、今回はその反省を生かし、積極的に攻めることができましたと思います。駒澤大学の林田コーチからも「絶対勝ってこい」と言われていたので、これで無事に大学に帰れます。（笑）【齋藤英豪選手】

試合の直前に「相手が強いから無理だと決めてリングに上がっていたらその時点で勝てない。しかしそう考えさえしなければ勝敗は分からない。」と大東文化大学の土田監督からメッセージをもらい、「気持ちで負けちゃいけない、自分の方が強い。」と自分を奮い立たせてリングに上がった。最後まで気持ちを切らさず試合することができたことが勝ちを呼び込んだと思う。【田下翔太選手】

大会後、岐阜県の細野監督は「特に田下選手は高校時代からこれまで全国大会出場の機会に恵まれず、悔しい思いをしてきたと思うがよく頑張って勝利してくれた。彼にとっては大学4年生の最後の大会で、ようやく初の全国大会への出場権をつかみとってくれて本当に嬉しい。今日はどの試合も僅差で、敗れた2名の選手も本当によくやったと思う。」と出場した選手たちを労いました。

みなさま、出場選手の応援をよろしくお願いします。

令和4年度全日本選手権大会 東海ブロック予選会ボクシング競技  
 令和4年9月3日～4日 飛龍高等学校

	9月3日	9月4日
男子		
【Min(ミニマム)級】		
稲垣海人(三重)	認定	稲垣海人(三重)
【F(フライ)級】		
溝口勢十郎(愛知)		溝口勢十郎(愛知)
宇津 輝(三重)		WP 2-1
小林寛汰(静岡)	KO 2R2'09"	
【B(バンタム)級】		
柴田玲央(静岡)		柴田玲央(静岡)
岡本 裕(三重)		WP 2-1
小野原大地(岐阜)	WP 0-3	
【Fe(フェザー)級】		
間宮瑠音(三重)	認定	間宮瑠音(三重)
【L(ライト)級】		
大野生喜(岐阜)		大橋 蓮(愛知)
大橋 蓮(愛知)		WP 1-2
【LW(ライトウェルター)級】		
田下翔太(岐阜)		田下翔太(岐阜)
富田真広(静岡)		WP 2-1
墨 亮多(愛知)	WP 3-0	
【W(ウェルター)級】		
齋藤英豪(岐阜)		齋藤英豪(岐阜)
中島鉄人(三重)		WP 3-0
月東佳生(愛知)	WP 3-0	
【LM(ライトミドル)級】		
田中廉人(愛知)	認定	田中廉人(愛知)
【LH(ライトヘビー)級】		
王 帥(愛知)	認定	王 帥(愛知)
【Cru(クルーザー)級】		
ウエノリュウイチ	認定	ウエノリュウイチ(愛知)